

# ナガエツルノゲイトウへの 除草効果が確認されました!

(2021年千葉県 現地試験)

農林水産省登録 第24389号

除草剤分類 4, 2, 27

## ウィードコア™

### 1キロ粒剤

Rinskor™ active

### 水稲用除草剤

TM：コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標



### ナガエツルノゲイトウ

ナデシコ目ヒユ科に分類される  
多年生雑草。  
南アメリカ原産。



### 【ナガエツルノゲイトウに対する試験事例】

【散布当日】



【散布3日後】

葉の退色がみられ



【散布9日後】

ほぼ枯死した状態



【散布14日後】

ほぼ消失した状態



2021年千葉県栄町 1kg/10a 湛水散布5月11日散布

# WeedCoa™ 1キロ粒剤

## Rinskor™ active

除草剤分類 4, 2, 27

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

### 水稲用除草剤

有効成分

: フロルピラウキシフェンベンジル(通称;リンズコア) 0.40%、ペノキスラム 0.50%、ベンゾビシクロン 2.0%



#### ・すばやい効果発現

症状(捻転など)が早く現れ、効果の判断がしやすいです。

#### ・4葉期のノビエと大きな広葉雑草に優れた効果

散布適期の幅が広く、生育の進んだ雑草にも有効です。

#### ・様々な雑草を同時に防除可能

既存剤に感受性が低下した雑草、イボクサやクサネムなどの難防除雑草、セリやオモダカなどの多年生雑草まで、幅広い草種をこの剤一つで防除できます。

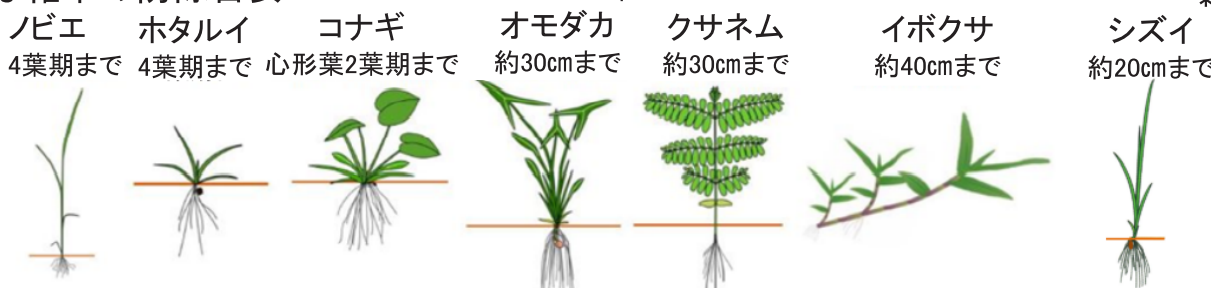
#### 【適用内容】

2023年2月末日現在の適用内容

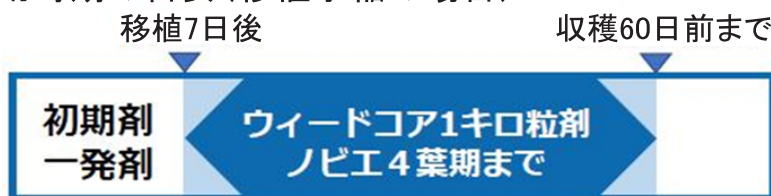
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a当り)	本剤の 使用回数	※総使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び キシュウスズメノヒエ 多年生広葉雑草	移植後7日 ～ノビエ4葉期 但し、 収穫60日前まで	1kg	2回以内	本剤:2回以内	湛水散布 又は 無人航空機 による散布
直播水稲	一年生雑草 及び ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ セリ ヒルムシロ	稲3葉期 ～ノビエ4葉期 但し、 収穫60日前まで				

※総使用回数: 収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分の総使用回数を示します。

#### ■主な雑草の防除目安



#### ■使用時期の目安(移植水稲の場合)



初期剤または一発剤との体系で使用してください。  
草種によって防除できる大きさは異なります。  
まき遅れのないよう早めの散布をおすすめします。

 無人航空機  
散布に対応

 WCSで  
使用可能

 直播水稲に  
適用あり

# ウィードコア™ 1キロ粒剤

Rinskor™ active



従来、粒剤で防除が困難であった草種に対しても優れた除草効果を示します。素早い効果発現を実感してください。

■各種雑草に対する殺草効果(2020年試験実施・栃木県)



## 【使用上の注意】

- 使用量にあわせ秤量し、使いきってください。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。クログワイは草丈20cmまで。コウキヤガラは草丈20cmまで。シズイは草丈20cmまで。ホタルイは4葉期まで。マツノハイは増殖期まで。ミズガヤツリは5葉期まで。オモダカは草丈30cmまで。ウリカワは4葉期まで。ヘラオモダカは4葉期まで。セリは再生盛期まで。ヒルムシロは発生盛期まで。キシュウスズメノヒエは再生茎2葉期まで。また、アゼガヤ(一年生雑草)は草丈10cmまで。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように散布してください。
- 苗の植付けが均一となるように代かきをいねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にいねいに行ってください。
- 散布に当たっては、水深3~5cmの湛水状態で田面に均一に散布してください。水の出入りを止めて、少なくとも3~5日間はそのままの湛水状態を保ち、田面を露出させないように注意してください。散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
  - ① 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
  - ② 散布に当たっては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
  - ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
  - ④ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布してください。
  - ⑤ 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
  - ① 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
  - ② 軟弱な苗を移植した水田
  - ③ 極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
  - ④ 稲の根が露出している水田

- 本剤の使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
- 処理後数日間暑しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意してください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## 【安全使用上の注意】

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
- 直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

● 使用前には、ラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ● 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処置してください。 ● 防除日誌を記帳しましょう。